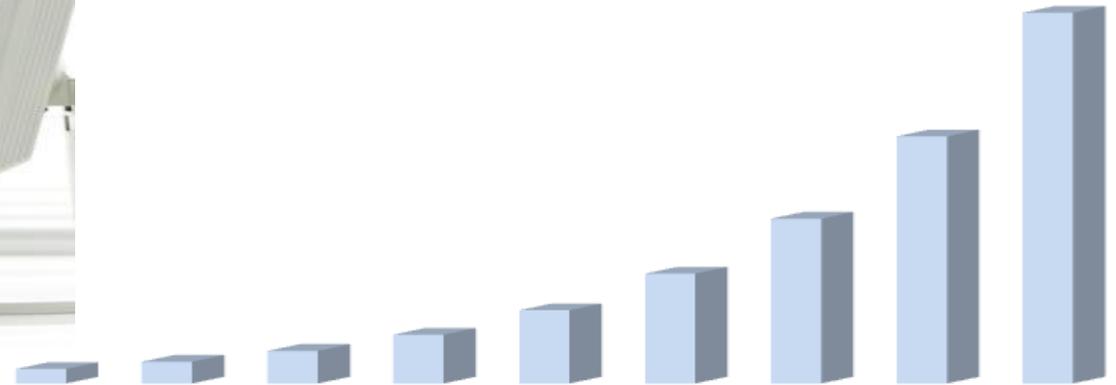


# ソフトマックス株式会社

---

## 2019年12月期 決算説明会

2020年2月18日



---

I	会社紹介	…	2
II	医療業界の動向	…	4
III	2019年12月期決算概要	…	14
IV	今後の事業戦略	…	18
V	今後の業績見通し	…	26

---



## I. 会社紹介

---



## 会社概要

◆ 本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー7階
◆ 本店	鹿児島市加治屋町12-11
◆ 代表者	会長 野村 俊郎 / 社長 永里 義夫 / 副社長 松島 努
◆ 設立	1974年1月
◆ 事業内容	総合医療情報システム開発・販売・導入指導・保守
◆ 資本金	4億2425万円 (東京証券取引所マザーズ上場 2013年3月12日)
◆ 従業員数	170名(2019年12月31日現在)

## 経営理念

### 顧客の成功と利益

情報技術を駆使し、高品質かつ柔軟性・拡張性のあるシステム構築を通して、お客様に最適なソリューションを提供するトータルなシステムインテグレーションサービスを実現します。



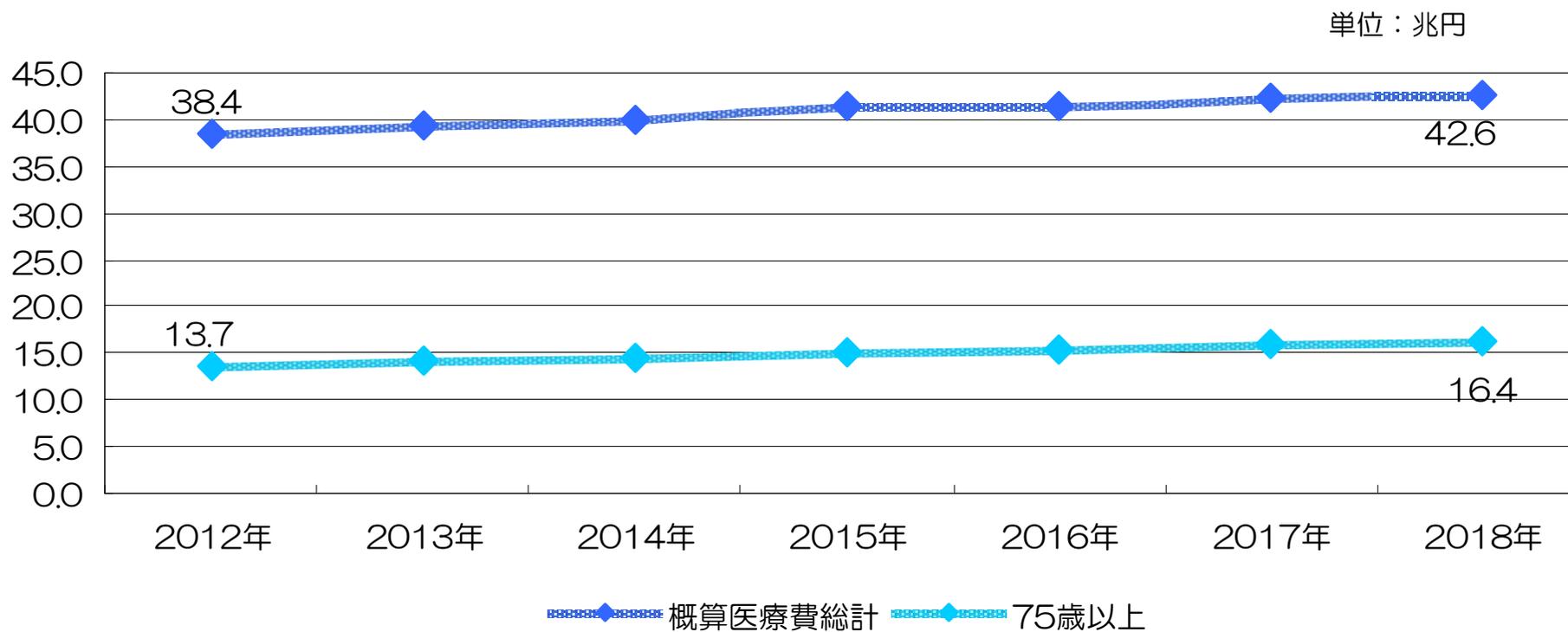
## Ⅱ . 医療業界の動向

---

### ～成長する医療情報システム市場



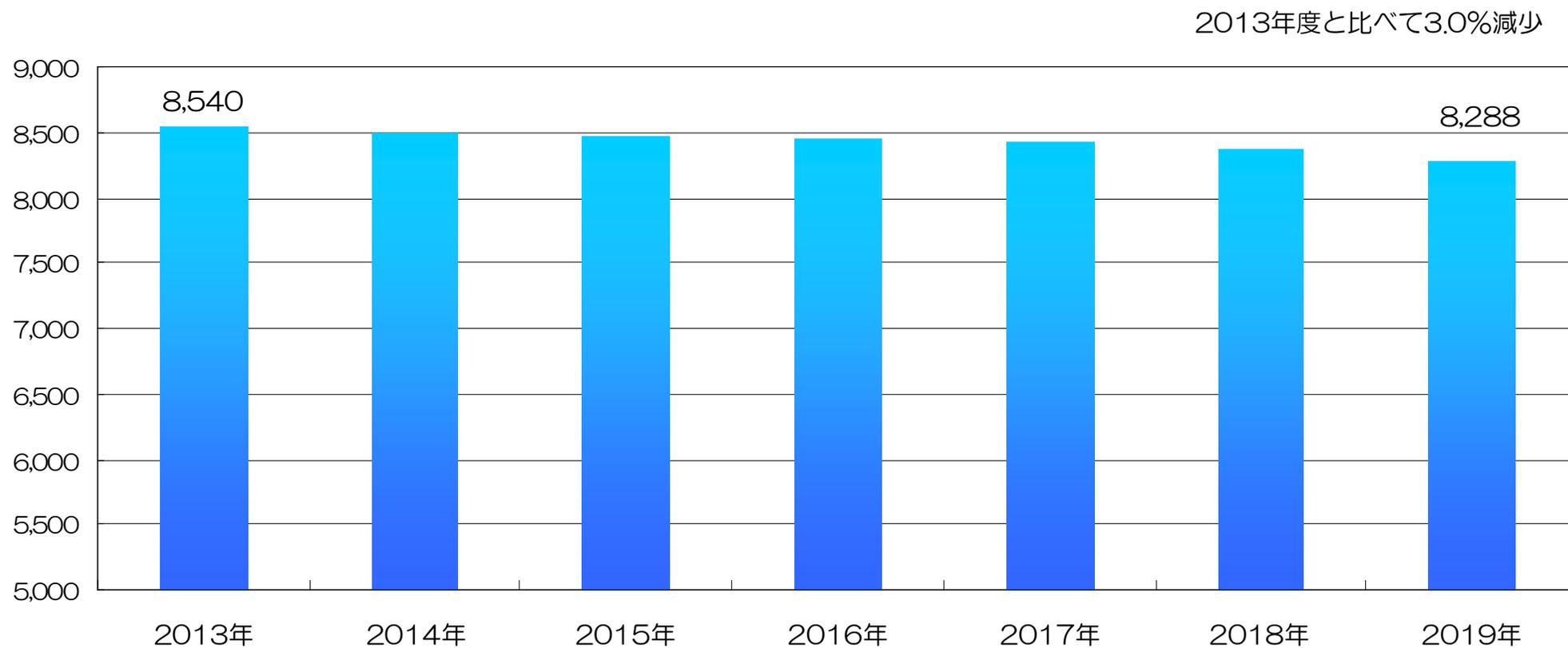
# 医療費の推移



出所：厚生労働省 概算医療費データベース：2012年～2018年



# 病院施設数の推移



出所：厚生労働省 医療施設動態調査：2013年 11月～2019年 11月



## 医療費の増加(少子高齢化も加速)

- ◆ 高齢化が一段と進む「2025年問題」に向けた抜本的な対策が必要

## 病院の減少、医療従事者の働き方改革

- ◆ 医療ミスのない、また質の高い診療を受けられる環境の整備が急務

## 地域医療構想(都道府県ベースの策定)

- ◆ 2025年を目途に病床機能再編、医療・介護の連携実現

## 医療情報利活用の推進(マイナンバーカードの活用)

- ◆ 個人にあった健康・医療・介護サービス提供のデータ基盤構築

ポイント

医療費削減

病院経営効率化

医療分野のICT化

医療情報利活用



## ▶▶ 遠隔診療、AI開発・実用化

- ◆ かかりつけ医等による対面診療と組み合わせた効果的・効率的な遠隔診療の促進
- ◆ AI開発・実用化の促進(クラウド環境の整備等)・AIを用いた医師の診療の支援

未来投資戦略2017(首相官邸2017.6.9)

## ▶▶ 次世代ヘルスケアシステムの構築

- ◆ 個人の健診・診療・投薬情報を、医療機関等の中で共有するための工程表策定
- ◆ 服薬指導を含めた「オンラインでの医療」全体の充実に向けた所要の制度的対応

未来投資戦略2018(首相官邸2018.6.15)

## ▶▶ 国民の健康づくりに向けたPHRの推進

- ◆ データヘルス改革(マイナンバーカードの活用等)を推進し、「保険医療データプラットフォーム」の運用を実現【2020年度から本格運用】

経済財政と運営の基本方針2019(閣議決定2019.6.21)

\*PHR(personal health record)

個人の健診結果や服薬履歴等の情報を、電子記録として本人や家族が正確に把握するための仕組み



## ＜資金面での支援＞

### ▶▶ 地域医療介護総合確保基金（地域医療構想実現）

- ◆ 2017年度実施：医療分 904億円、介護分724億円 計1,628億円
- ◆ 2018年度実施：医療分 934億円、介護分724億円 計1,658億円
- ◆ 2019年度予算：医療分1,034億円、介護分824億円 計1,858億円

### ▶▶ 医療情報化支援基金（医療のICT化促進）

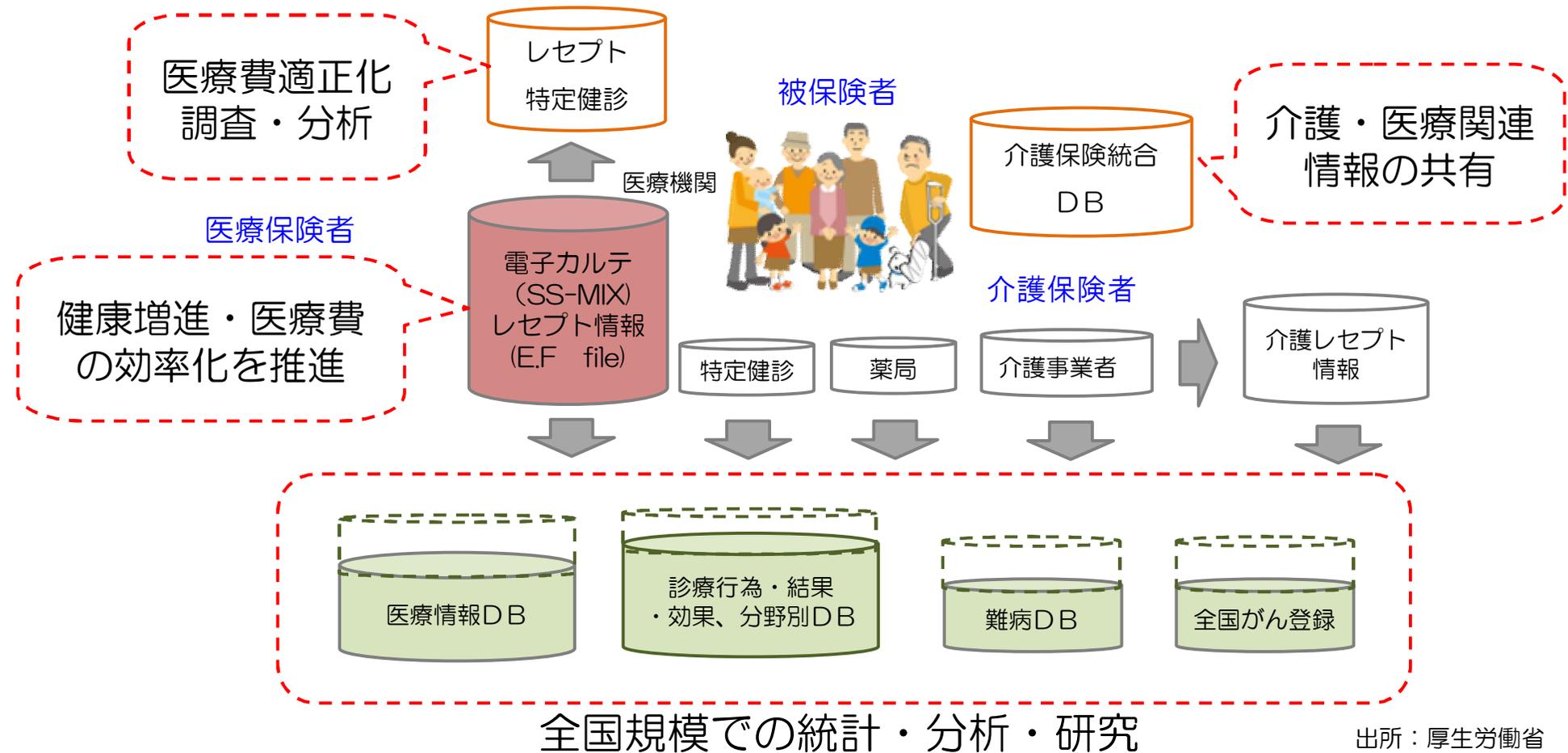
- ◆ オンライン資格確認や電子カルテ等の普及促進のため基金300億円を創設  
(2019年度予算成立：参院本会議 2019.3.27)
- ◆ 2020年度予算（厚労省分）においても前年度より増額され768億円決定  
(2020年度予算：閣議決定 2019.12.20)



# 医療分野に於けるビッグデータの利活用



健康寿命を延伸するためには、ICTを利用した個人による日常的な健康管理が重要

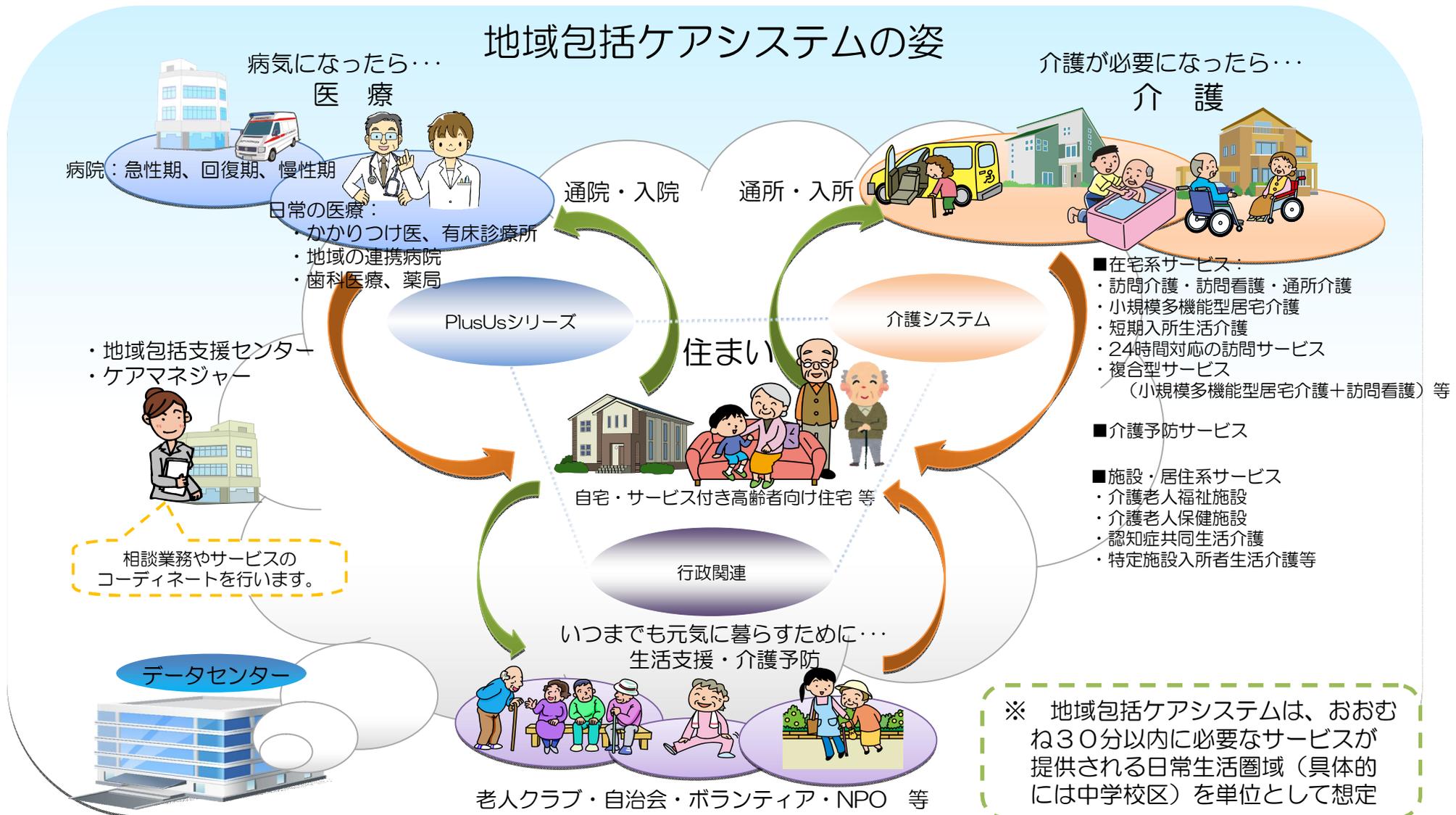


出所：厚生労働省

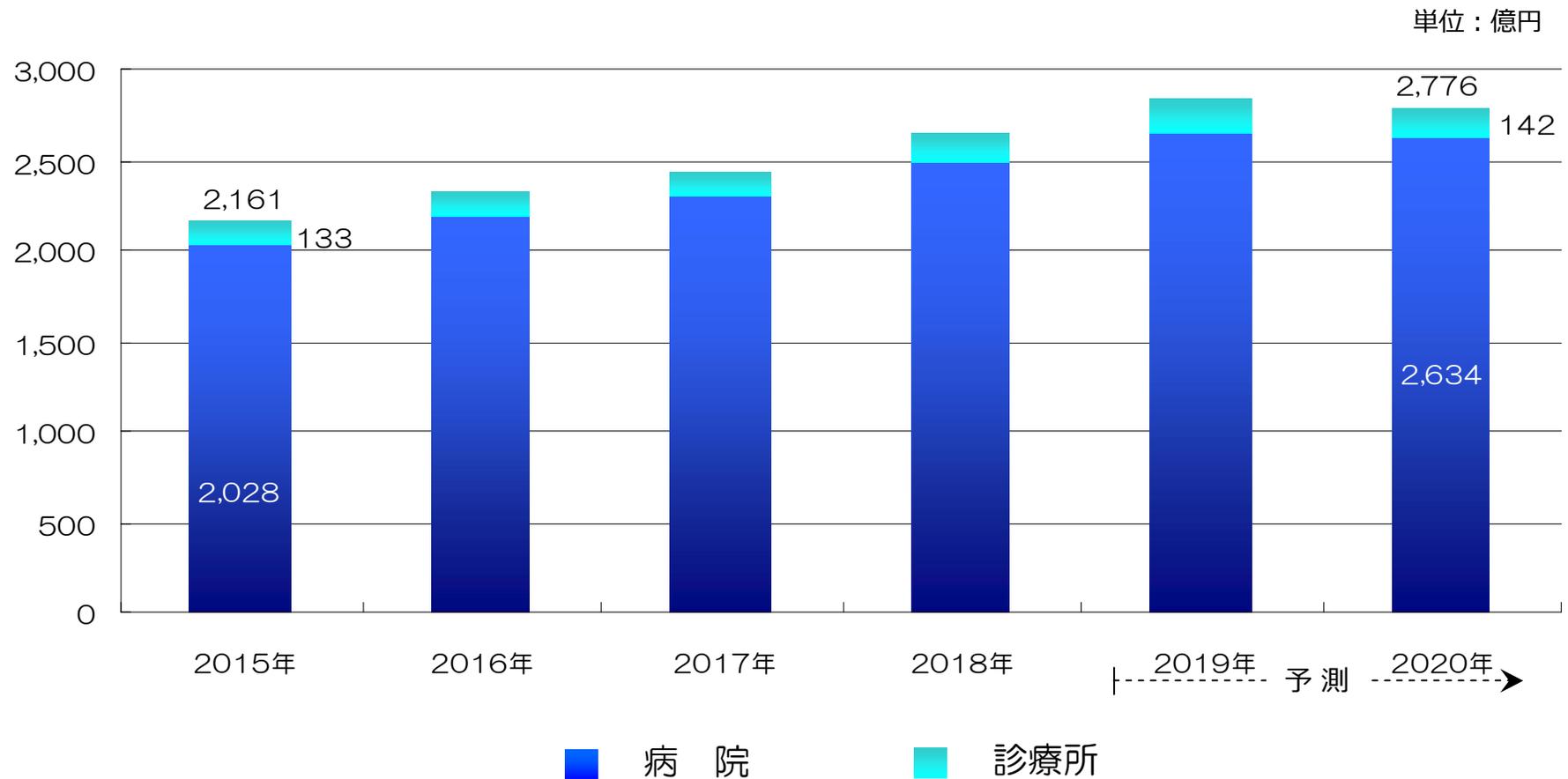


# 地域包括ケアシステムのシステム構想

クラウド技術によるシステム連携・データ共有により地域包括ケアシステムをサポート



# 電子カルテ市場規模予測 (単年出荷金額)



出所：シード・プランニング「2017年版 電子カルテの市場動向調査」(2017年8月3日公表)



# 電子カルテシステム導入状況（病床規模別）

## 主戦場である電子カルテ市場の急成長

病床規模	電子カルテ 導入施設 <sup>※1</sup>	構成比	施設数 <sup>※2</sup>	導入率
20~99床	646	19.5%	2,977	 21.7%
100~199床	1,070	32.3%	2,813	 38.0%
200~299床	537	16.2%	1,093	 49.1%
300~399床	446	13.5%	701	 63.6%
小計	2,699	81.5%	7,584	 35.6%
400床以上	612	18.5%	788	 77.7%
全体	3,311	100.0%	8,372	 39.5%

### 当社のターゲット

電子カルテ未導入  
約5,000施設  
(全体の約60%)

※1) 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会による資料を元に、当社にて作成(2019年4月1日時点)  
 ※2) 厚生労働省医療施設動態調査より作成(2018年10月1日時点)



## Ⅲ . 2019年12月期決算概要

---



# 経営成績 及び 配当の状況

(単位：百万円、下段は構成比)

	2018年 12月期	2019年12月期		
		実績	前期比	主な増減要因
売上高	3,321 (100.0%)	4,332 (100.0%)	130.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ システムソフトウェア販売高の増加 (+ 834百万円)</li> <li>◆ ハードウェア販売高の増加 (+ 167百万円)</li> <li>◆ 保守サービス等売上高の増加 (+ 9百万円)</li> </ul>
売上総利益	995 (30.0%)	1,210 (27.9%)	121.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 売上高の増加 (+1,011百万円)</li> <li>◆ 売上原価の増加 (▲ 796百万円)</li> </ul>
営業利益	252 (7.6%)	405 (9.4%)	160.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 売上総利益の増加 (+ 215百万円)</li> <li>◆ 販売費及び一般管理費の増加 (▲ 61百万円)</li> </ul>
経常利益	276 (8.3%)	429 (9.9%)	155.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 営業利益の増加 (+ 153百万円)</li> <li>◆ 営業外収益の増加 (+ 0.4百万円)</li> <li>◆ 営業外費用の増加 (▲ 0.8百万円)</li> </ul>
当期純利益	175 (5.3%)	270 (6.2%)	154.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 税引前当期純利益の増加 (+ 146百万円)</li> <li>◆ 法人税等の増加 (▲ 49百万円)</li> <li>◆ 法人税等調整額の増加 (▲ 1百万円)</li> </ul>
配当金 (※1株当たり金額)	59 (10円)	71 (12円)	120.0% (+2円)	

※当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。2018年12月期の「1株当たり金額」は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

◆ 売上高、営業利益・経常利益・当期純利益とも、会社設立後**最高の業績**となりました。



# 種類別受注実績・受注残高・販売実績



単位：百万円

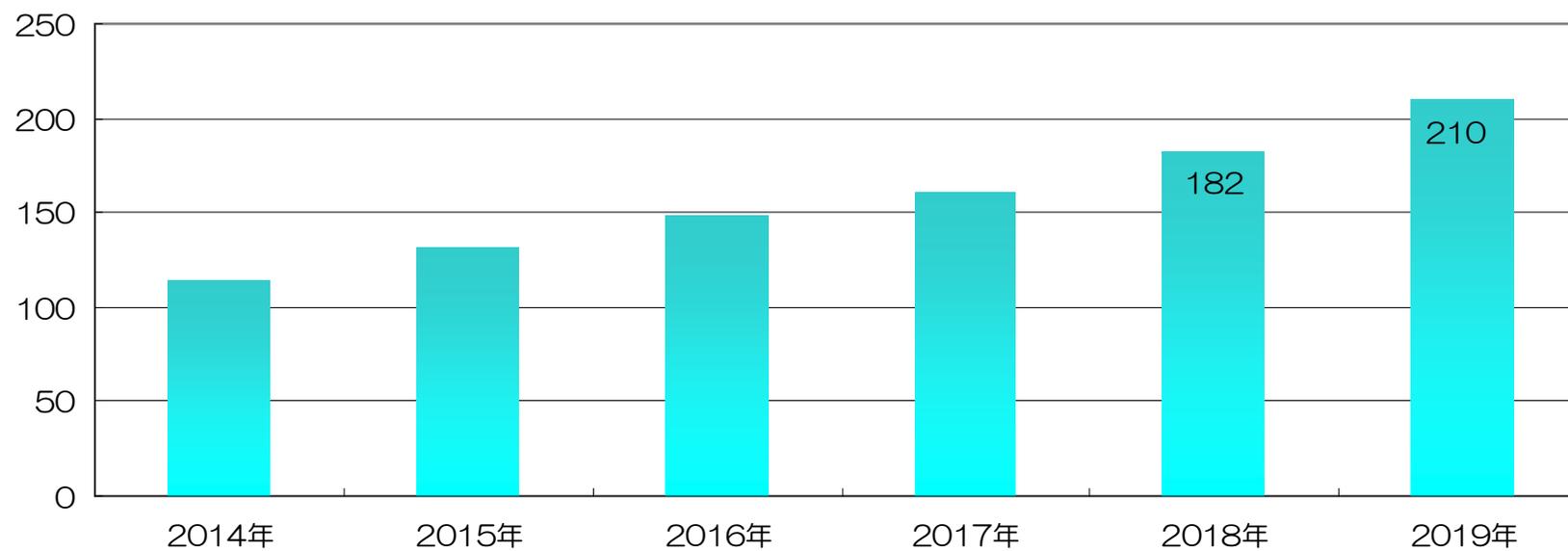
種類別受注高	2018年12月期	2019年12月期	
			前期比
受注高	2,601	3,246	124.8%
システムソフトウェア	1,738	2,367	136.2%
ハードウェア	862	878	101.9%

種類別受注残高	2018年12月期	2019年12月期	
			前期比
受注残高	1,298	1,343	103.5%
システムソフトウェア	939	1,009	107.5%
ハードウェア	358	333	92.9%

種類別売上高	2018年12月期	2019年12月期	
			前期比
売上高	3,321	4,332	130.4%
システムソフトウェア	1,462	2,297	157.0%
ハードウェア	736	904	122.8%
保守サービス等	1,122	1,131	100.8%



■ PlusUs電子カルテ・オーダ



## IV . 今後の事業戦略

---



# 成長戦略の方向性

地域医療連携システムの市場は引き続き拡大するが、政府のデータヘルス改革推進主導でデータ利活用プラットフォームの2020年度からの稼働が目視される中で、今後は地域における情報共有・コミュニケーション向上を超えた付加価値が求められる。

## 地域包括ケア

### ヘルスケア事業者向けシステム／ICTインフラ

#### 医療機関向け

大病院

中小病院

診療所

#### 調剤薬局向け

#### 介護事業者向け

### 戦略①: 地域包括ケアにおけるICTプラットフォーム確立

#### 医療サービスの質の向上

- 利用者、家族向けPHRシステム
- アプリ
- ウェアラブル

### 戦略②: PHR領域の強化

#### 事業者の経営改善、医療費抑制

- ヘルスケア
- ビックデータ

### 戦略③: ヘルスケアデータの活用

#### 医療の利便性の向上

- ポイントサービス
- 決済支援
- ファクタリング
- サイバー保険

### 戦略④: 周辺サービスの強化



## ▶▶ 販売体制の強化・ブランド力のアップ

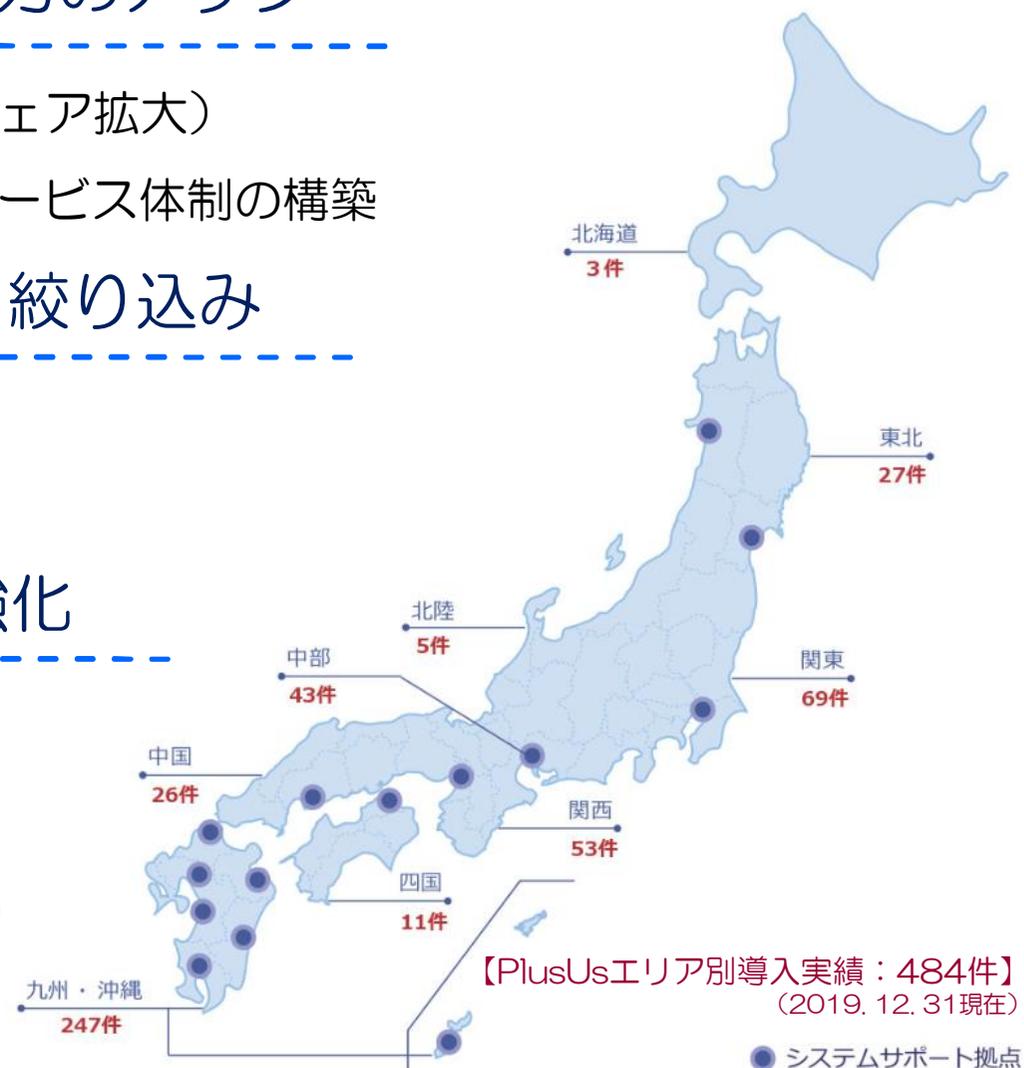
- ◆ 営業エリアの拡大（東日本地域のシェア拡大）
- ◆ 他社との提携による新たな販売・サービス体制の構築

## ▶▶ 営業対象のフォーカス化・絞り込み

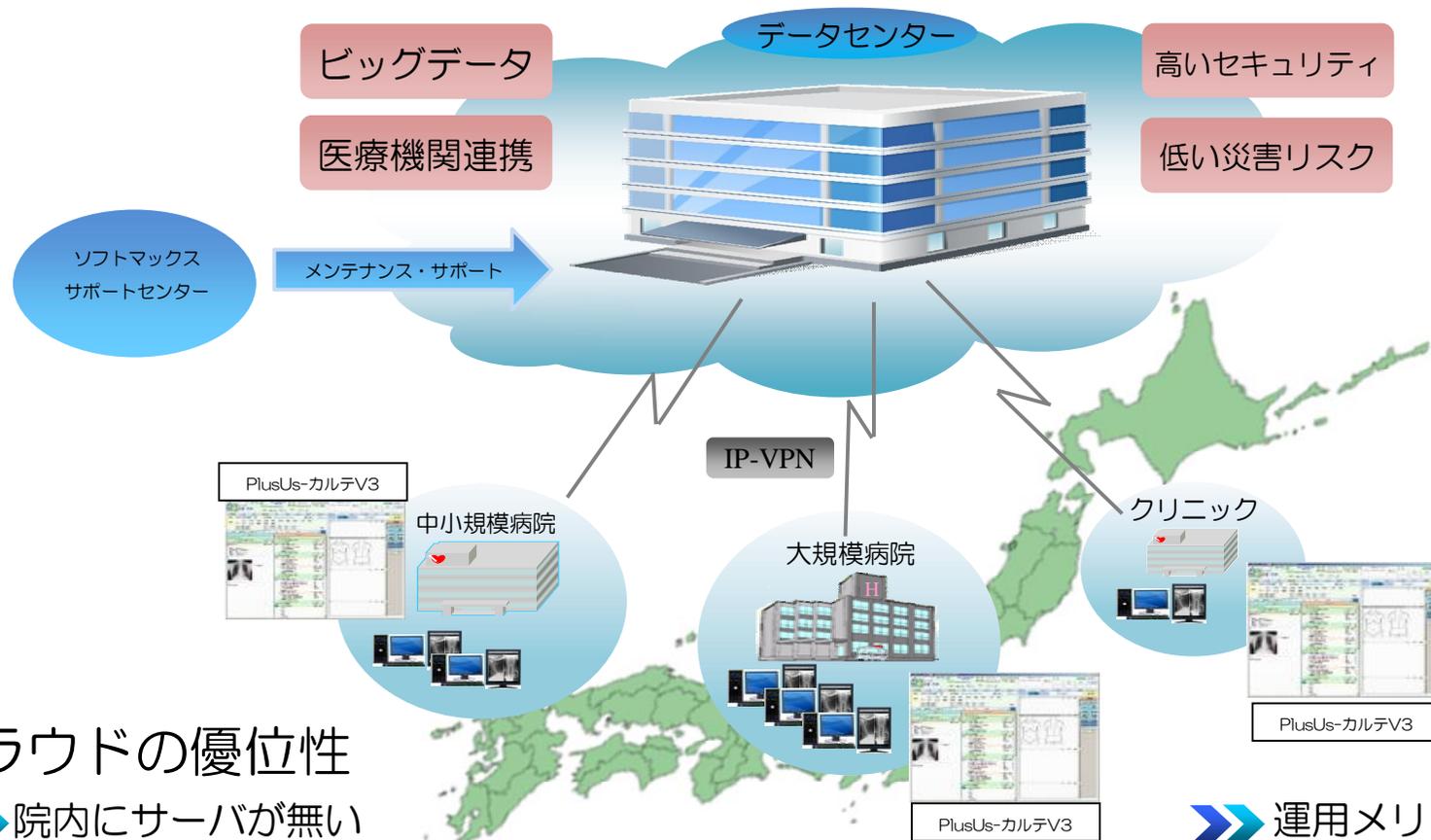
- ◆ 有力グループ病院へのクラウド拡販
- ◆ 透析等専門病院に特化した営業推進

## ▶▶ 開発体制・システム機能強化

- ◆ 人材の採用・育成の充実
- ◆ 部門システム・専門機能の強化
- ◆ アフタ・カスタマーサービスの強化



# データセンターを利用したクラウドシステム



## クラウドの優位性

### 院内にサーバが無い

- ◆ 本体サーバ群の投資コスト、運用コストの低廉化
- ◆ 情報の一元化（連携共有）
- ◆ 高セキュリティ
- ◆ 高保存性
- ◆ ビッグデータ化（統計、分析、研究）
- ◆ 耐ディザスタ

### 運用メリット

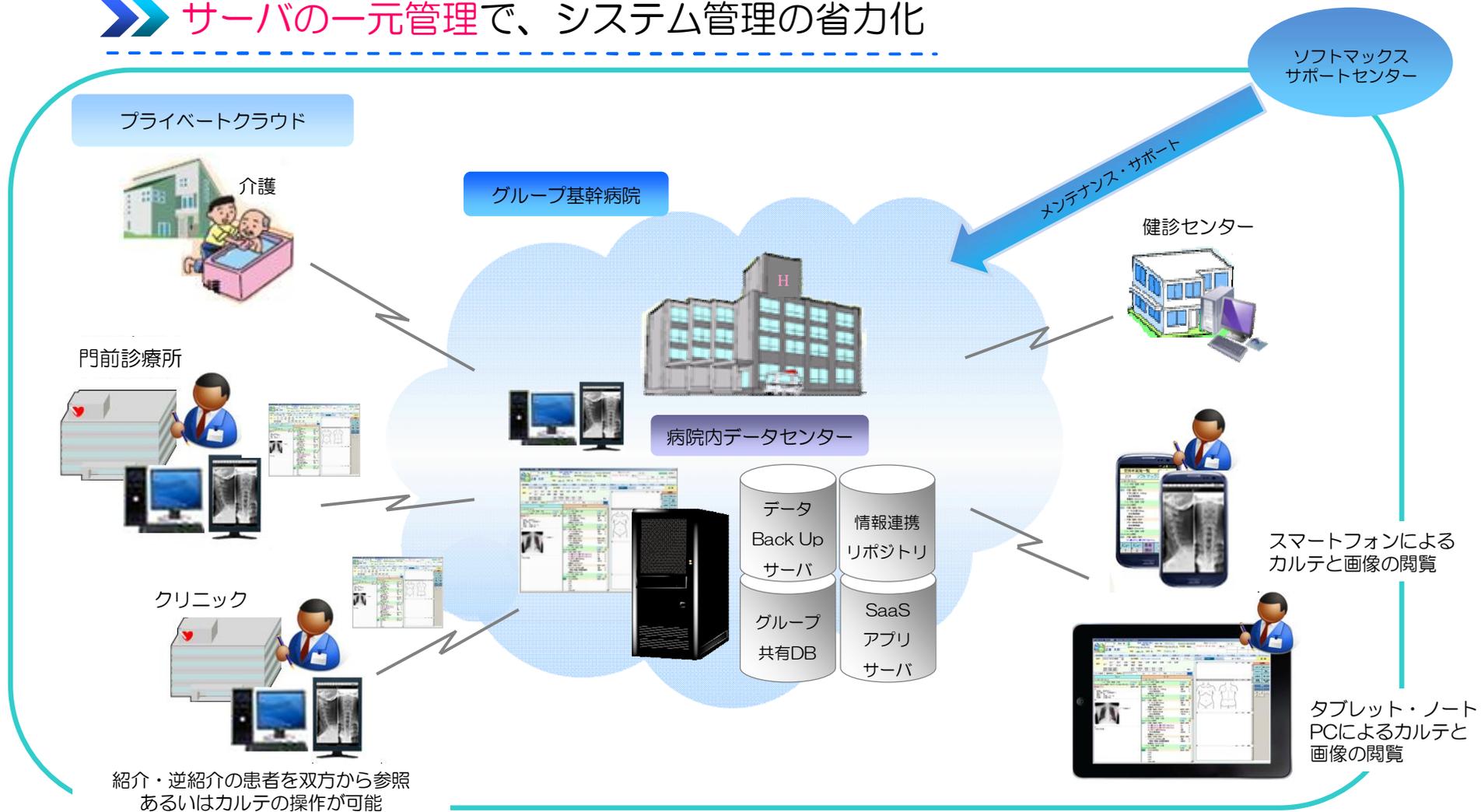
- ◆ 端末にPGが無い（ライセンス料が不要）
- ◆ 端末にデータが無い（高セキュリティ）
- ◆ 端末は市販PCで可

# プライベートクラウドを利用したグループ連携



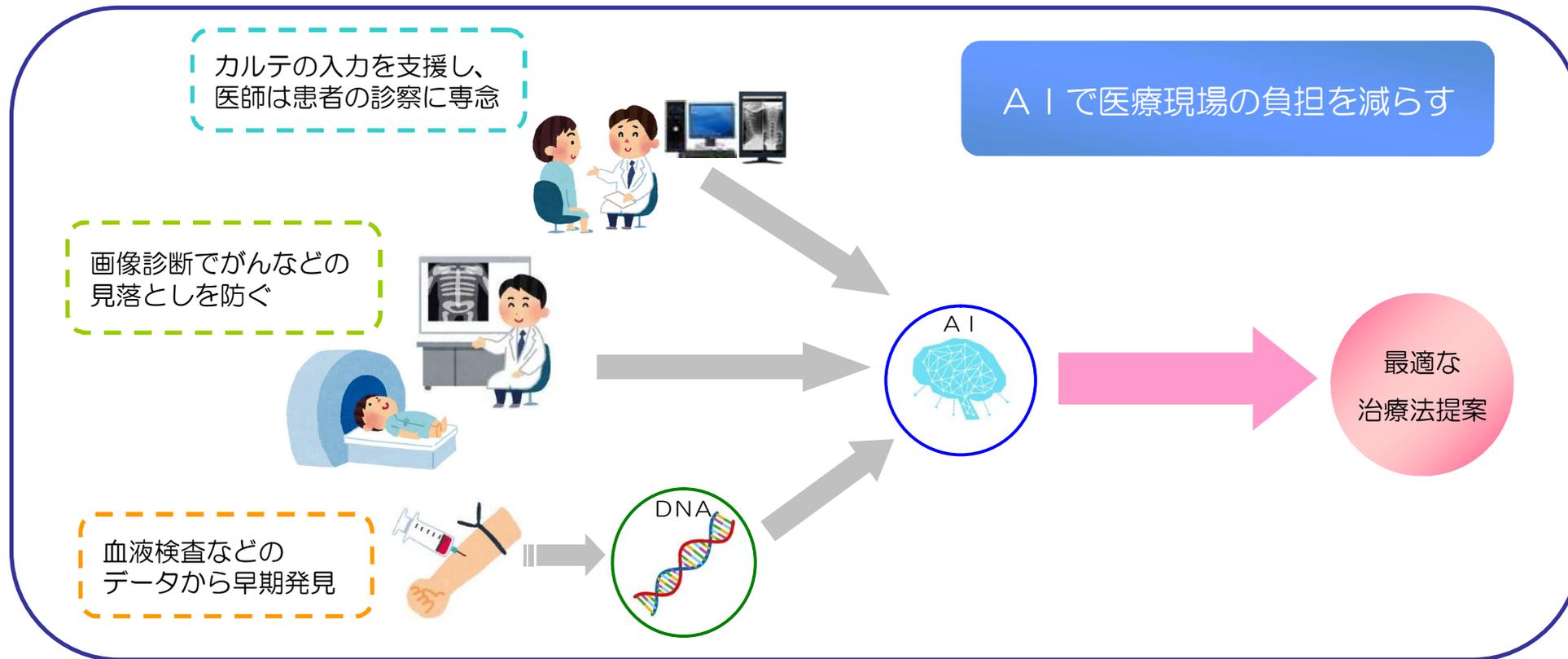
▶▶ 同一グループ病院・介護施設・診療所でカルテ情報を共有

▶▶ サーバの一元管理で、システム管理の省力化



## AIへの具体的な取り組み

### AI活用事例の研究



## 医療と介護の一元性と情報の共有

### 地域包括ケアの実践



## データ活用で可視化し、意思決定を迅速化

外来速報



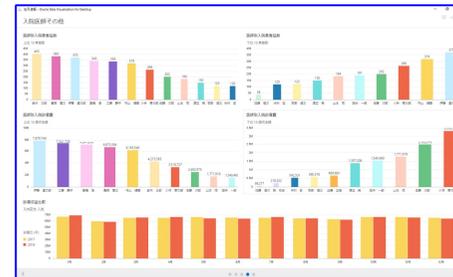
外来医師その他



入院速報



入院医師その他



病床状況速報



収益統計



※BIとはビジネスインテリジェンスのこと。企業内に蓄積された膨大なデータを統合・分析・管理し、企業の意思決定に活用するシステムや概念の総称。データウェアハウス・データマイニング・オンライン分析処理などが含まれる。

▶▶ 地域包括ケアでの医療・回復期リハ・健康・介護を  
一体連携化



地域包括ケア



## V . 今後の業績見通し

---



# 2020年12月期 業績予想

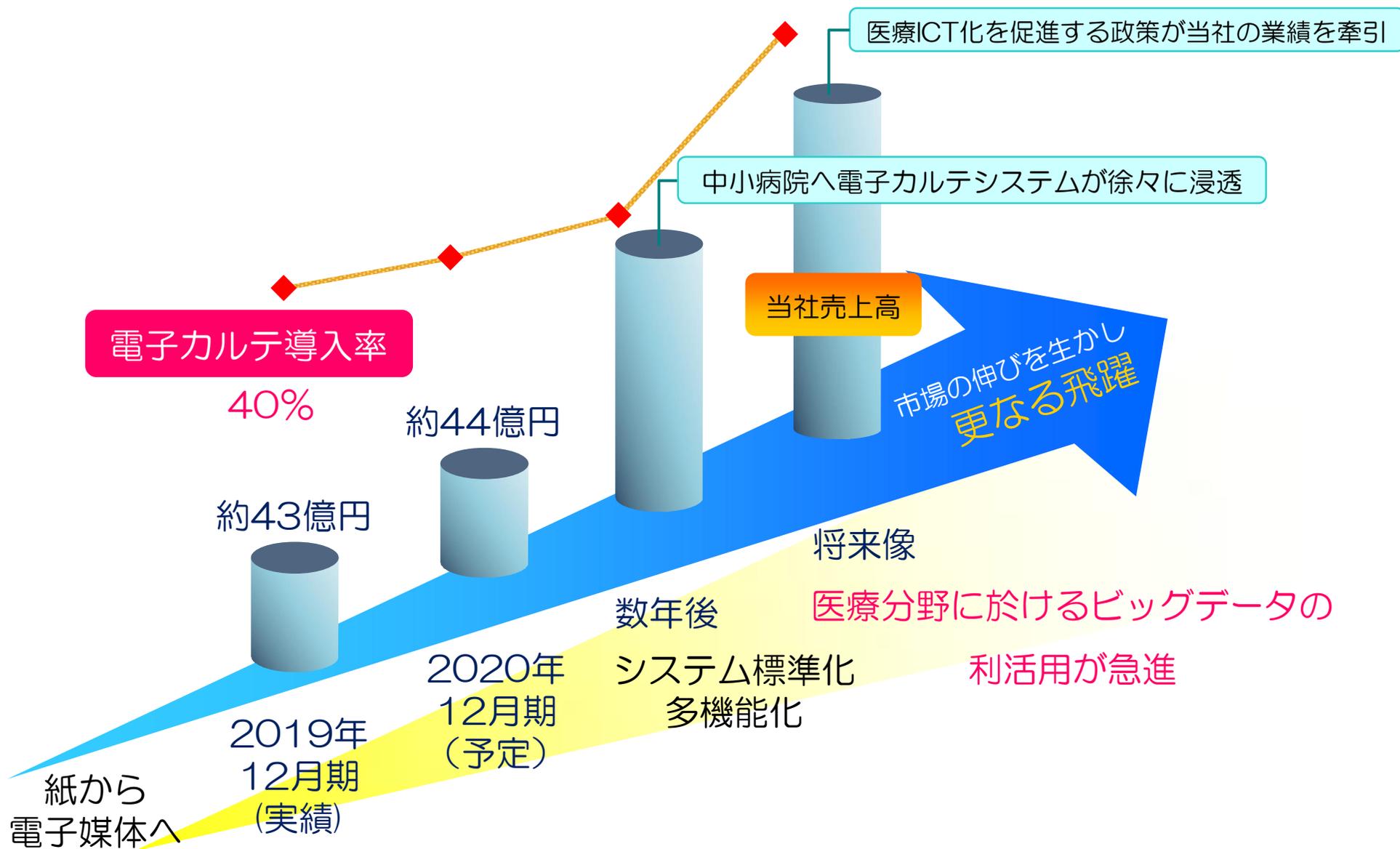


(単位：百万円)

	2019年12月期		2020年12月期		
	実績	構成比	計画	構成比	前期比
売上高	4,332	100.0%	4,450	100.0%	102.7%
売上総利益	1,210	27.9%	1,261	28.3%	104.2%
営業利益	405	9.4%	420	9.4%	103.5%
経常利益	429	9.9%	466	10.5%	108.7%
当期純利益	270	6.2%	284	6.4%	105.1%



# 成長市場を取り込み更なる飛躍へ





ご清聴ありがとうございました。

[連絡先] ソフトマックス株式会社

[本社] 東京都品川区北品川4-7-35  
御殿山トラストタワー7階  
03-5447-7772

[本店] 鹿児島市加治屋町12-11  
099-226-1222

